

【資料1】

那珂市自転車活用推進計画に掲げた施策の実績報告及び今後の取組について

1 施策の体系及び推進体制

令和2年9月に策定した「那珂市自転車活用推進計画」では、次のとおり、計画の基本理念である「市民が自転車をたのしみ、サイクリストを迎える“ハートのまち”～自転車で創る“いい那珂暮らしと、あたたかい交流”のまちづくり～」の実現に向け、3つの基本方針及び基本方針に基づく10項目の施策を掲げています。

【基本理念】

市民が自転車をたのしみ、サイクリストを迎える“ハートのまち”
～自転車で創る“いい那珂暮らしと、あたたかい交流”のまちづくり～

〈基本方針1〉 自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう

施策① 自転車利用環境の計画的な整備

施策② 通学路における交通安全の確保

施策③ 公共交通機関との連携

〈基本方針2〉 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策④ 交通安全意識の醸成

施策⑤ 自転車を安全に利用するための啓発

施策⑥ 交通手段としての自転車活用の推進(環境負荷軽減の促進)

施策⑦ 自転車活用による健康増進の啓発

〈基本方針3〉 交流とおもてなしで地域を盛り上げよう

施策⑧ サイクリストに対するおもてなしの充実

施策⑨ サイクルツーリズムによる地域の活性化

施策⑩ 効果的なプロモーション活動の実施

2 各施策の実施状況及び今後の予定について

令和5年12月時点における各施策の実施状況及び今後予定している取組の内容については、次のとおりです。

<基本方針1> ～自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう～

施策名	施策① 自転車利用環境の計画的な整備
主な取組内容	・路肩等の幅員を十分に確保した道路整備(矢羽根を表示) ・案内看板等の整備 ・自転車走行環境の適切な維持管理 ・サイクルサポートステーションの確保と整備
実施主体	県、市、民間事業者

○令和5年度報告

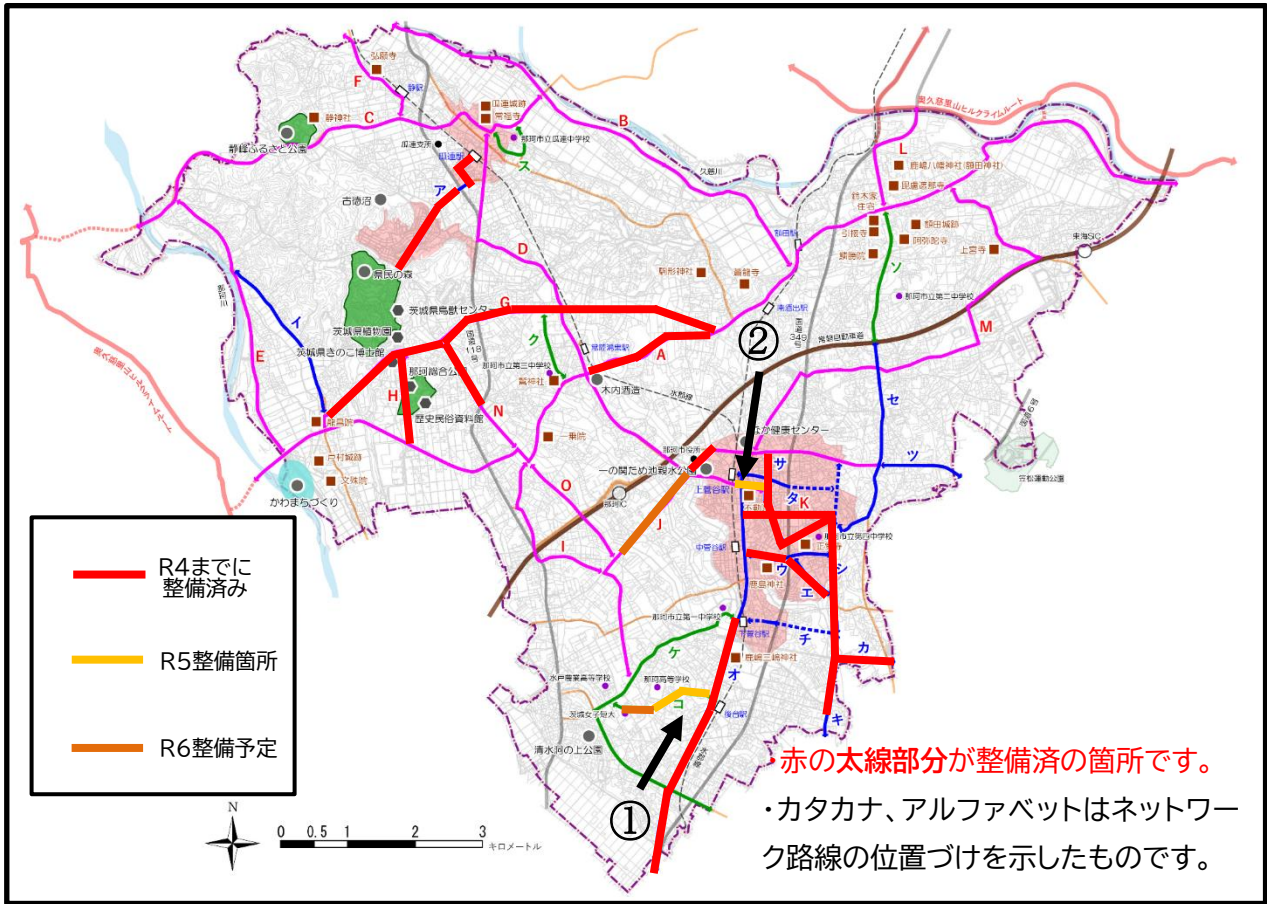
■道路整備

- ・「那珂市自転車ネットワーク計画」へ位置付けた路線のうち、市が管理する2路線の一部区間について、車道混在による整備(路面に矢羽根等を表示)を実施しました。

整備路線延長

年度	整備延長
令和3年度	12.2km
令和4年度	13.8km
令和5年度	1.3km
合計	27.3km

令和5年度までの施工箇所



令和5年度整備箇所①



令和5年度整備箇所②



■道路整備に関する周知

- ・自転車の通行位置及び矢羽根の趣旨を市民へ周知するため、広報なかに矢羽根の記事を掲載しました。(令和5年7月25日号)



改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。

自転車を運転するすべての人がヘルメットをかぶることに努めなければならないのはもちろんのこと、保護者などは、児童や幼児が自転車を運転する際は、ヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。

努力義務のため、法令に従わなくとも罰則の適用はありませんが、自転車死亡事故の約6割が頭部に致命傷を負っています。ヘルメットを着用し、大切な命を守りましょう。

自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



矢羽根型路面表示の設置を進めています

市民の皆さんや来訪するサイクリストが安心して走ることができるよう、市で設定したサイクリングコースに矢羽根型路面表示を順次設置しています。

矢羽根型路面表示とは？

自転車の通行位置と方向を明示し、自転車の安全な通行を促すものです。

矢羽根型路面表示があると……

- 自転車の通行域が明確になり、自動車ドライバーに対しても、車道上の自転車通行位置を知らせることができます
- 矢印形になっているので、向きが分かり逆走の防止になります



思いやりのある運転をしましょう

自動車が自転車の側方を通過するときは1.5m以上の安全な間隔を保つよう配慮した運転をお願いします。

道路事情などから、安全な間隔を保つことができないときは、「徐行」(直ちに停止できる速度で通行)しましょう。



■サイクルサポートステーションの確保

・市内の民間施設5箇所を新たにサイクルサポートステーションとして登録しました。継続して設置を進めます。

登録施設一覧(令和5年12月31日現在)

	設置年度	分類	施設名		設置年度	分類	施設名
1	R2	公共	静峰ふるさと公園	17	R3	公共	茨城県植物園
2	R2	公共	清水洞の上公園	18	R3	民間	そば然
3	R2	公共	芳野農産物直売所	19	R3	民間	割烹おかざき
4	R2	公共	なかLuckyFM公園	20	R3	公共	総合センターらぼーる
5	R2	民間	ファミリーマート那珂瓜連店	21	R4	民間	阿弥陀寺
6	R2	民間	ファミリーマート額田南郷店	22	R4	民間	ミヤモツンモ
7	R2	民間	ファミリーマート五差路店	23	R4	民間	毘盧遮那寺
8	R2	民間	セブンイレブン那珂市役所前店	24	R4	民間	ファミリーラーメンふるさと
9	R3	民間	セブンイレブン那珂中央店	25	R4	公共	那珂西リバーサイドパーク
10	R3	民間	蕎麦 五楽亭	26	R4	民間	常福寺
11	R3	民間	GP 食堂	27	R5	民間	SYARIN
12	R3	公共	市立図書館	28	R5	民間	とんかつ一筋かつ吉
13	R3	民間	味噌乃マルショウ 那珂後台店	29	R5	民間	静神社
14	R3	公共	曲がり屋	30	R5	民間	セブンイレブン那珂戸崎店
15	R3	公共	しどりの里	31	R5	民間	ファミリーマート那珂インター店
16	R3	民間	セブンイレブン那珂酒出店				



○SYARIN(令和5年度整備)



○かつ吉(令和5年度整備)



○今後の予定

■道路整備(自転車の通行環境整備)

- ・令和6年度に、「那珂市自転車ネットワーク計画」へ位置付けた路線のうち、計2路線の一部区間(延長約2.2km)について車道混在による整備(路面に矢羽根等を表示)を実施予定です。

■サイクルサポートステーションの確保

- ・市内の民間施設等にサイクルサポートステーションとして登録の依頼を行うとともに、利活用の検討を進めていきます。

<基本方針1> ～自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう～

施策名	施策② 通学路における交通安全の確保
主な取組内容	・関係機関との連携による定期的な安全点検の実施 ・危険箇所の改修・改善 ・通学路安全マップの作成
実施主体	市

○令和5年度

■関係機関との連携による安全点検の実施

- ・市内の小中学生の通学路について、「通学路交通安全プログラム」に基づき25箇所の安全点検を実施しました。



■交通安全施設整備事業の実施

- ・点検結果に基づき、交差点部への停止看板の設置や停止線の表示等を実施しました。

○今後の予定

■関係機関との連携による安全点検の実施

- ・市内の小中学生の通学路について、継続して「通学路交通安全プログラム」に基づく安全点検を実施します。

■交通安全施設整備事業の実施

- ・市内の路線について、継続して停止線の表示等の安全対策を実施予定です。

<基本方針1> ～自転車にやさしい空間で楽しく乗ろう～

施策名	施策③ 公共交通機関との連携
主な取組内容	・シェアサイクルの導入検討 ・駐輪環境の整備・充実 ・放置自転車の撤去及び活用検討
実施主体	市

○令和5年度報告

■JR水郡線サイクルトレインの利用可能駅拡大

- ・令和4年4月から本運用が開始された水郡線サイクルトレインについて乗降可能駅が令和5年10月から拡大されました。

(上菅谷駅～磐城石川駅及び上菅谷駅～常陸太田駅の各駅(全31駅))

(土・日曜日、祝日のみ。事前予約制。

※行楽シーズン等混雑が予想される場合は対象外となる場合があります。)



■サイクルトレインの利用促進

- ・サイクルトレインの利用者には、駐車場の貸出しを行い、利用促進を図っています。

(参照:JR東日本ホームページ)

■放置自転車の撤去

- ・市内JR水郡線駅前駐輪場9箇所において、計29台の放置自転車を撤去しました。

○今後の予定

- シェアサイクルの導入について引き続き検討を行います。
- サイクルトレインについて、周知を行います。
- 放置自転車の撤去を行います。

<基本方針2> 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策名	施策④ 交通安全意識の醸成
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世代ごとの特性に応じた交通安全教室等の開催 ・未就学児に対する交通安全教育の実施 ・交通ルールの遵守に向けた啓発 ・自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発
実施主体	市、市民、民間事業者

○令和5年度報告

■自転車安全運転啓発イベント開催

<イベント概要>

イベント名	自転車シミュレーター及びVR体験
開催日	令和5年8月26日(土) なかひまわりフェスティバルのイベントの1つとして開催
開催場所	那珂総合公園(なか LuckyFM 公園)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車シミュレーターを使用し、道路で起こる様々な交通状況をリアルに再現して、危険な場面を疑似体験してもらうことで交通ルールや危険予測・回避トレーニングを実践的に学習してもらいました。 ・危険行為の未然防止につなげるため「自転車ながらスマホ」、「T字路走行」、「無灯火運転」に潜む危険性をVRで疑似体験してもらいました。 ・運転時のヘルメット着用が努力義務化されたことを受けて、ヘルメット着用を啓発しました。
参加人数	103人



■交通安全教育の実施

・市内の小学校9校、中学校5校で、那珂警察署等の協力のもと「自転車に関する交通ルール」や「自転車の点検のしかた」等を含む交通安全教室を開催しました。



■自動車のドライバーに対する「思いやり運転」の周知啓発

・令和5年5月、7月、9月及び11月に実施した「交通事故防止県民運動キャンペーン」において、那珂市内の国道349号を通行する自動車のドライバーやカスミ瓜連店の利用者に対し、「自転車に対する思いやり運転」を周知啓発するリーフレットを配布しました。



○今後の予定

■交通安全教室を開催します。

■自転車及び自動車利用者へ交通ルールの順守や「思いやり運転」について周知を行います。

<基本方針2> 交通ルールを守ってみんな安全に乗ろう

施策名	施策⑤ 自転車を利用するための啓発
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車点検整備講習の開催 ・自転車損害賠償保険の加入促進 ・ヘルメット購入補助の検討
実施主体	県、市

○令和5年度報告

■自転車安全利用五則及びヘルメット着用努力義務化の周知

- ・市のホームページ及び広報なかにおいて、自転車安全利用五則及びヘルメット着用努力義務化の周知を行いました。



市HP掲載(内閣府作成)



広報なか5.11号掲載

- ・なかひまわりフェスティバルにおいて、ヘルメット着用の啓発を行いました。(再掲)



- ・二十歳の集い(旧成人式)において、茨城県警が作成したヘルメット努力義務化及び自転車安全利用5則についてのチラシを配布し周知を行いました。

■小中学生のヘルメット購入補助の実施

- ・市内の小学校9校に通う児童(令和5年4月進学の新入生及び転入生(新1年生のみ対象))に対し、市がヘルメット購入費の半額程度の補助を実施しました。
また、市内の中学校5校(令和5年4月進学の新入生及び転入生(全学年対象))に対し、市がヘルメット購入費の全額補助(無償提供)を実施しました。

■保険会社と連携した自転車損害賠償保険の加入促進

- ・市が包括連携協力に関する協定を締結している保険会社と連携し、市イベント「なかひまわりフェスティバル」において自転車損害賠償保険への加入促進に向けた啓発を行いました。

○今後の予定

- 自転車安全利用5則及びヘルメット着用努力義務化の周知を行います。
- 小中学生のヘルメット購入補助を実施します。

<基本方針2> 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策名	施策⑥ 交通手段としての自転車活用の推進(環境負荷軽減の促進)
主な取組内容	・自転車通勤及び通学の促進 ・市役所における自転車通勤制度の導入検討 ・市民自転車デー(ウィーク)の検討
実施主体	市、市民、民間事業者

○令和5年度報告

■エコ通勤チャレンジウィークの実施

・県央地域9市町(水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村)で実施する「エコ通勤チャレンジウィーク(※)」について、期間中は市職員を対象にエコ通勤チャレンジウィークの趣旨を周知し、期間中の通勤及び休日における公共交通機関、自転車等の利用を推奨しました。

※県央地域の9市町村が、公共交通の利用促進及び地球温暖化防止キャンペーンとして、年2回マイカーの利用を1週間控えて、公共交通や自転車で通勤することを呼びかける事業

実施概要

対象者:水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村の職員

実施期間:①令和5年6月1日から6月7日まで

②令和5年12月20日から12月26日まで

本市の取組対象者(職員数):①667人 ②593人

取組結果:那珂市職員の取組結果は下表のとおりです。

①

ア 普段、「自動車(マイカー及び相乗り)」で通勤している職員の期間中の通勤手段

	① 自動車で通勤した		② 鉄道 で通勤した	③ 路線バス で通勤した	④ 自転車で 通勤した	⑤ 徒歩で 通勤した	⑥ 送迎して もらった	計
	ひとりで	相乗りで						
6月1日	536人	5人	4人	----	10人	7人	----	562人
6月2日	538人	4人	----	----	2人	1人	1人	546人
6月3日	95人	----	----	----	4人	----	----	99人
6月4日	68人	----	----	----	2人	----	----	70人
6月5日	504人	10人	2人	----	9人	6人	1人	532人
6月6日	529人	8人	1人	----	11人	6人	2人	557人
6月7日	515人	12人	3人	----	16人	2人	1人	549人
計	2,785人	39人	10人	----	54人	22人	5人	2,915人

②

ア 普段、「自動車(マイカー及び相乗り)」で通勤している職員の期間中の通勤手段

	① 自動車で通勤した		② 鉄道 で通勤した	③ 路線バス で通勤した	④ 自転車で 通勤した	⑤ 徒歩で 通勤した	⑥ 送迎して もらった	計
	ひとりで	相乗りで						
12月20日	455人	5人	3人	----	8人	4人	----	475人
12月21日	449人	8人	1人	----	5人	4人	1人	468人
12月22日	421人	19人	7人	1人	3人	4人	3人	458人
12月23日	95人	7人	----	----	2人	----	----	104人
12月24日	83人	3人	----	----	1人	----	----	87人
12月25日	423人	8人	3人	----	4人	2人	----	440人
12月26日	430人	7人	5人	----	6人	3人	2人	453人
計	2,356人	57人	19人	1人	29人	17人	6人	2,485人

■那珂市役所でのノーマイカーウィークの実施

・那珂市役所において、職員を対象に5月、7月及び8月にノーマイカーウィークを実施しました。

実施月	職員数		ノーマイカー 実施実人数	
	正職員	非正職員	鉄道・バス・ 自転車・徒歩	相乗り
5月	515	291	94	60
7月	513	298	84	29
8月	511	302	62	29
平均			80	

○今後の予定

- 市内事業者への自転車通勤の啓発をします。
- ノーマイカーウィークの実施をします。
- 庁内におけるノーマイカーウィーク時の自転車利用の啓発をします。

<基本方針2> 交通ルールを守ってみんなで安全に乗ろう

施策名	施策⑦ 自転車活用による健康増進の啓発
主な取組内容	・健康づくりサイクリングイベントの開催 ・電動アシスト自転車等の普及啓発 ・健康効果や楽しみ方等の情報発信
実施主体	市、民間事業者

○令和5年度報告

■健康づくりについての周知啓発

・茨城県が開発したアプリ「元気アップ！りいばらき」の利用を周知することで健康づくり活動の啓発を行いました。



元気アップ！りいばらき

(茨城県 HP)

■体調管理についての周知啓発

・スポーツ振興及び健康の維持・増進に関する事項等について包括連携協定を締結している、大塚製薬株式会社と茨城県が作成したアプリ「元気アップ！りいばらき」が連携した体調管理について周知啓発を図ることで健康への意識の向上を図りました。



○今後の予定

- ノーマイカーウィークにおける自転車利用を推奨します。
- 自転車を利用することの健康面でのメリットについて周知を行います。
- 市内のおすすめサイクリングスポットの周知を行います。

<基本方針3> ～交流とおもてなしで地域を盛り上げよう～

施策名	施策⑧ サイクリストに対するおもてなしの充実
主な取組内容	・自転車活用拠点の確保等 ・案内サインの設置 ・サポートライダーの確保・育成 ・サイクリストにやさしい協力店舗等の確保 ・市内飲食店と連携したグルメ開発
実施主体	県、市、民間事業者

○令和5年度報告

■サイクルサポートステーションの確保(再掲)

・市内の民間施設5箇所を新たにサイクルサポートステーションとして登録しました。

■イベントにおける特典を用意

・デジタルスタンプラリー「駅からサイクリング」において、スポットとなっている5つの飲食店において参加者が訪れた際の特典を用意し提供しました。

○今後の予定

■市内の民間施設等にサイクルサポートステーションとして登録の依頼を行います。

■案内サインの計画的設置を検討します。

■サイクルサポートステーション登録店舗の利用者に対する優遇サービスの検討を行います。

<基本方針3> ～交流とおもてなしで地域を盛り上げよう～

施策名	施策⑨ サイクルツーリズムによる地域の活性化
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした周遊サイクリングルートの構築 ・市民と連携したサイクリングイベントの開催 ・広域サイクリングルートとの連携 ・ポタリングの推進
実施主体	県、市、民間事業者

○令和5年度報告

■デジタルスタンプラリーの実施

・JR 東日本(株)と連携し、デジタルスタンプラリー「駅からサイクリング」を開催しました。

<イベント概要>

イベント名	駅からサイクリング
開催期間	令和5年10月1日～12月31日
内 容	<p>上菅谷駅を発着点として市内飲食店や観光スポットをサイクリングで巡るデジタルスタンプラリーです。市内飲食店や観光スポットなど11か所のチェックポイントを設定し、サイクリングをしながら市内の歴史や自然に触れつつ美味しいものを堪能し、楽しんでもらいました。</p> <p>なお、全てのポイントをチェックインした参加者には特典として「常陸牛農家が育てたコシヒカリ4合」を贈りました。</p>
コ ー ス	初心者でも楽しめるようアップダウンを少なくした気軽に自転車で散策できる比較的やさしいコース設定(約37km)
参加人数	48人
参 加 料	無料
チェックポイント	<ol style="list-style-type: none"> 1.上菅谷駅(菅谷) 2.一の関ため池親水公園(菅谷) 3.常福寺(瓜連) 4.割烹おかざき(下大賀) (先着 30 名の方に『銀鱈の西京漬け』を無料サービス) 5.静神社(静) 6.なか LuckyFM 公園(戸崎) 7.GP 食堂(飯田) (先着 100 名の方に『唐揚げ 2 個又はコロッケ 1 個』を無料サービス) 8.ファミリーマート那珂飯田五差路店(飯田) (先着 100 名の方に『150 円相当の店舗選定ソフトドリンク』を無料サービス) 9.清水洞の上公園(東木倉) 10.蕎麦五楽亭(後台) (先着 50 名の方に『お食事代 10%割引』サービス) 11.パン工房ぐるぐる(菅谷) (先着 100 名の方に『究極の塩バターメロンパン』を 1 個無料サービス)



参加者特典「常陸牛農家が育てたコシヒカリ4合」



チェックポイント(上菅谷駅、常福寺)

■2023年 ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会の後援

・令和5年11月5日(日)に、なかLuckyFM公園を会場に開催されたいばらきサイクリング協会主催の「2023年 ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会」において、会場に市のPRブースを設置し、市の自転車活用推進のPRを実施しました。(大会参加者119人)



- ・周遊サイクリングコース参加者には、エイドステーション(一の関ため池親水公園)において、クリームパン(パン工房ぐるぐる)を提供しました。
- ・ゴールした参加者に市内の綿引農園(株)が栽培したトマトを使ったスープ、パンアワード 2022 グランプリ受賞の「究極の塩バターメロンパン」(パン工房ぐるぐる)を提供しました。さらに、お土産として常陸野ネストビール(ホホワイトエール、木内酒造(株))、焼きドーナツ((有)つば焼きおおがね)を提供しました。

■自転車安全運転啓発イベント開催(再掲)

<イベント概要>

イベント名	自転車シミュレーター及び VR 体験
開催日	令和5年8月26日(土) なかひまわりフェスティバルのイベントの1つとして開催
開催場所	那珂総合公園(なか LuckyFM 公園)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車シミュレーターを使用し、道路で起こる様々な交通状況をリアルに再現して、危険な場面を疑似体験してもらうことで交通ルールや危険予測・回避トレーニングを実践的に学習してもらいました。 ・危険行為の未然防止につなげるため「自転車ながらスマホ」、「T字路走行」、「無灯火運転」に潜む危険性をVRで疑似体験してもらいました。 ・運転時のヘルメット着用が努力義務化されたことを受けて、ヘルメット着用を啓発しました。
参加人数	103人

○今後の予定

- サイクルサポートステーション登録施設と連携したイベントの開催を検討します。
- ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会等のイベントでのPR活動を行います。

<基本方針3> ～交流とおもてなしで地域を盛り上げよう～

施策名	施策⑩ 効果的なプロモーション活動の実施
主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブやSNS、雑誌等様々な媒体を活用した情報発信 ・サイクリングマップの作成 ・民間事業者や各種メディア等との連携
実施主体	市、市民、民間事業者

○令和5年度報告

■メディアを活用したイベント PR

- ・LuckyFM 茨城放送において、デジタルスタンプラリー「駅からサイクリング」のPR を行いました。

■サイクルサポートステーションに関する情報発信

- ・市のホームページに市内のサイクルサポートステーションに関する情報を掲載しています。また、サイクリングマップを増刷した際、サイクルサポートステーションの情報を更新しました。



■奥久慈里山ヒルクライムルートホームページでの情報発信

- ・奥久慈里山ヒルクライムルートホームページに、サイクリストにおすすめルートを紹介するライドプランやサイクルサポートステーションなどの情報発信をしました。

○今後の予定

- 奥久慈里山ヒルクライムルートホームページでの情報周知を図ります。
- 民間メディアとの連携し自転車活用を推進します。